

研究に関する公開情報

《研究課題名》

HIV 感染妊婦とその出生児の発生动向および妊婦 HIV スクリーニング検査等に関する全国調査

《研究責任者》

岩手医科大学医学部微生物学講座 感染症学・免疫学分野 吉野直人

《研究の目的》

この研究は、厚生労働科学研究費補助金エイズ対策政策研究事業「HIV 感染者の妊娠・出産・予後に関する疫学的・コホートの調査研究と情報の普及啓発法の開発ならびに診療体制の整備と均てん化に関する研究(研究代表者:喜多恒和 奈良県総合医療センター)」の分担研究「HIV 感染妊婦とその出生児の発生动向および妊婦 HIV スクリーニング検査等に関する全国調査(研究分担者:吉野直人 岩手医科大学)」として行っています。ヒト免疫不全ウイルス(HIV)感染妊婦の診療経験の有無、HIV 感染女性から出生した児(子ども)の診療経験の有無に関する全国疫学調査を行うことでわが国の実情が明らかとなり、今後の HIV 感染合併妊娠の早期診断治療と HIV 母子感染の回避に寄与することを目的とします。

《研究の対象》

独立行政法人福祉医療機構の病院・診療所情報に掲載されている全国の産科または産婦人科を標榜する病院、全国の産科または産婦人科を標榜するすべての診療所、全国の小児科を標榜するすべての病院

《研究の方法》

本研究は一次調査として施設毎の患者数などを調査しますが、患者個人の情報は調査しません。調査期間は 2021 年 3 月までです。調査方法は質問用紙を各施設の産婦人科部長様・小児科部長様宛に封書で送付します。回答は同封の回答用紙(ハガキ)により返信いただきます。調査にはプライバシー保護シールを同封します。さらに回答用紙には「HIV」「AIDS」「エイズ」等の記載をせず、回答欄からはどのような質問に対する回答かはわからないようにしてあります。一次調査の回答から得られた HIV 感染妊婦とその出生児の症例数と施設名は研究代表者(奈良県立総合医療センター)へ報告しますが、その他のデータは岩手医科大学で集計します。調査結果は施設名等が特定できないようにまとめます。

《研究に用いる情報の種類》

産婦人科調査:HIV 感染妊婦の診療経験の有無と症例数、妊婦健診実施の有無、年間分娩件数、
妊婦 HIV スクリーニング検査の実施率等

小児科調査:HIV 感染女性から出生した子どもの診療経験の有無とその症例数等

《情報の管理》

一次調査で診療経験ありと回答いただいたご施設へは二次調査(詳細調査)を行います。「HIV 感染者の妊娠・出産・予後に関する疫学的・コホートの調査研究と情報の普及啓発法の開発ならびに診療体制の整備と均てん化に関する研究(研究代表者:喜多恒和)」の杉浦敦(奈良県総合医療センター)と田中瑞恵(国立国際医療研究センター)が二次調査を担当しますので、ご施設名および症例数情報を共有します。データは特定の関係者以外アクセスできない状態で保管します。

《お問合せ先》

吉野直人

岩手医科大学医学部微生物学講座 感染症学・免疫学分野

〒028-3694 紫波郡矢巾町西徳田 2-1-1

電話 019-651-5111 (内線 5792)

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。